



未来を切り拓く

2023年4月27日(木)発行 文責：石田 浩一

「夢を育む学校創り」
～人権尊重の精神のもと、
自ら学び、心豊かでたくましく生きる
実践力のある生徒の育成～

§ 1 始業式



4月10日(月)に令和5年度がスタートしました。

今年度の生徒数は、1年生56名、2年生63名、3年生44名の全校163名となります。また、新たに13名の職員の転入があり、総勢35名の職員で全校生徒の教育活動をサポートさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

始業式では、2・3年生に次のこととお話ししました。

(2年生)

☆ 中堅学年として、3年生の背中に憧れをもち、1年生を労われるよう「たくましさと優しさを身に付ける一年」にしてほしい。

(3年生)

☆ 本校のリーダー学年として活躍する一年となるため、自分たちの強みや良さを44名で分かち合いながら「思いを形にしていく大切な一年」にしてほしい。

これまでの先輩たちが築いてくれた素晴らしいところをもっともっと伸ばしていくことが「誰もが誇れる青陵中学校」になると考えています。163名の生徒がさまざまな力を身に付けながら成長していく姿を見守っていきたいと思います。

§ 2 入学式

4月11日(火)には、56名の新入生が入学しました。式では、担任の先生から名前を呼ばれ、立派に返事をする姿から、これから始まる中学校生活への意気込みを感じることができました。また、新入生代表として、大屋明莉さんが誓いの言葉を述べ、「一人一人が中学校生活に希望をもち、共に助け合って成長していきたいです。」と立派に誓いました。

そして、校長式辞として、以下の内容(一部抜粋)を伝えました。

① 「人を人として大切に思う心をもつ」生徒であってほしい。

これから始まる中学校生活においては、様々な集団活動の取組も、「一人一人の存在」を大切にしながら活動します。

自分を大切にすると同時に、人の気持ちを考え、人とつながって生きる生き方を身につけていくようにしてください。また、先輩や友達の姿から、人と関わっていくことを学んでいきましょう。

② 「学び続けることを大切にする」生徒であってほしい。

中学校では、教科ごとに担当する先生が代わり、教科に合った勉強の仕方、ノートの取り方などを、丁寧に教えてもらいながら、しっかりと授業に取り組んでください。また、皆さんは、三年後に人生の分岐点となる進路を選択する時が待っています。そのために、将来働く自分の姿を、少しずつ具体的にイメージしながら、学び続けることを大切にしていきましょう。

③ 「心と体を鍛える」生徒であってほしい。

日々の生活の中で、「きちんと食べて、きちんと寝る」「決められたルールを守る」「気持ちの良いあいさつをする」「履物をそろえる」など、生活の土台となる習慣やふるまいをよりよくすることは、学習や生活すべてに通じる基礎的な力を鍛えることにつながるのです。自分を振り返りながら身に付けるようにしていきましょう。